

中小企業BCPの策定とその支援

～緊急時、あなたの会社は生き残れるか～

大地震や集中豪雨などの災害や、新型コロナ、テロなど不測の事態に見舞われた時、あなたの会社は生き残ることができますか？緊急事態であっても自社のサービス・製品を供給して会社を存続させることができますか？

緊急時に普段と同じように判断し、的確な行動をとるためにBCPの策定は非常に重要です。今月はBCP策定の基本と、策定支援について特集します。

参考資料・出典:中小企業庁:中小企業BCP策定運用指針サイト掲載資料
中小機構 事業継続力強化計画ポータルサイト、及び同サイト掲載資料
兵庫県HP「令和5年度BCP(事業継続計画)の策定支援」

- 被害状況の確認** ※大規模地震の場合
- ① ライフライン 停電、水道・ガスの停止
 - ② 道路 通行規制、渋滞の発生
 - ③ 情報通信 回線の混乱により、電話・インターネットがつながりにくくなる。
 - ④ 鉄道 運行停止
 - ⑤ 人 ▼設備・什器類の転倒、建物の倒壊、津波等の発生による負傷 ▼従業員の出社不能
 - ⑥ 物 ▼工場・店舗の浸水・倒壊 ▼設備・什器の転倒 ▼商品・備品類の落下・破損 ▼仕入先被災による原材料不足↓商品の生産・販売ができない
 - ⑦ 情報 パソコン等の機器の破損による重要な書類・データが復旧できなくなる
 - ⑧ 金 ▼事業停止による売上減 ▼復旧のための資金が必要
- 緊急時でも事業継続のために必要な経営資源(人、物、情報など)を確保するための事前対策を平常時から検討・実施しておくことが必要です。そのためにも自社の強み・弱みを日頃から把握し可視化しておきましょう。

BCP取組状況 チェックリスト

	はい	いいえ	不明
人的資源	緊急事態発生時に、支援が到着するまでの従業員の安全や健康を確保するための災害対応計画を作成していますか？		
	災害が勤務時間中に起こった場合、勤務時間外に起こった場合、あなたの会社は従業員と連絡を取り合うことができますか？		
	緊急時に必要な従業員が出社できない場合に、代行できる従業員を育成していますか？		
	定期的に避難訓練や初期救急、心肺蘇生法の訓練を実施していますか？		
物的資源(モノ)	あなたの会社のビルや工場は地震や風水害に耐えることができますか？そして、ビル内や工場内にある設備は地震や風水害から保護されますか？		
	あなたの会社周辺の地震や風水害の被害に関する危険性を把握していますか？		
	あなたの会社の設備の流動を管理し、目録を更新していますか？		
	あなたの会社の工場が操業できなくなる、仕入先からの原材料の納品がストップする等の場合に備えて、代替で生産や調達する手段を準備していますか？		
物的資源(金)	1週間又は1ヵ月程度、事業を中断した際の損失を把握していますか？		
	あなたは、災害後に事業を再開させる上で現在の保険の損害補償範囲が適切かどうかを決定するために保険の専門家と相談しましたか？		
	事前の災害対策や被災時復旧を目的とした融資制度を把握していますか？		
	1ヵ月分程度の事業運転資金に相当する額のキャッシュフローを確保していますか？		
物的資源(情報)	情報のコピーまたはバックアップをとっていますか？		
	あなたの会社のオフィス以外の場所に情報のコピーまたはバックアップを保管していますか？		
	主要顧客や各種公共機関の連絡先リストを作成する等、緊急時に情報を発信・収集する手段を準備していますか？		
	操業に不可欠なIT機器システムが故障等で使用できない場合の代替方法がありますか？		
体制等	あなたの会社が自然災害や人的災害に遭遇した場合、会社の事業活動がどうなりそうかを考えたことがありますか？		
	緊急事態に遭遇した場合、あなたの会社のどの事業を優先的に継続・復旧すべきであり、そのためには何をすべきか考え、実際に何らかの対策を打っていますか？		
	社長であるあなたが出張中だったり、負傷したりした場合、代替りの者が指揮をとる体制が整っていますか？		
	取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決めてありますか？		

- 【判定結果】 「はい」 の数はいくつでしたか？
- 16～20個 あなたの会社ではBCPの考え方に則った取組が進んでいるようです。再度BCPをチェックし、より強力なものとすることが望めます。
 - 6～15個 緊急時に備える意識は高いようですが、まだまだ改善すべき点が多いといえます。実践的なBCPを策定し、平常時から運用を進めることが必要です。
 - 0～5個 今、緊急事態に遭遇したらあなたの会社の事業は長期間停止し、廃業に追い込まれる恐れが大了。一からBCPの策定・運用に取り組んでください。早急にできることから始めて下さい。

BCPとは何か

BCP(Business Continuity Plan)とは、企業等が緊急事態(自然災害・大火災・感染症...)に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするため、平時に行うべき活動や、当該緊急非常時における事業継続のための方法、手段などをあらかじめ取り決め、それを文書化したものです。

◆一般的な「防災計画」と「BCP」の違い

防災計画

人的・物的被害の防御、軽減が主眼

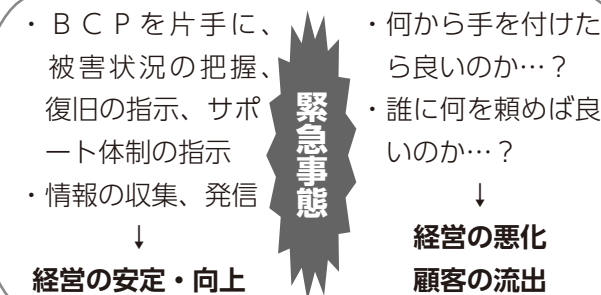
BCP(事業継続計画)

被災後の事業の継続・早期復旧も視野

BCPはなぜ必要か？

企業が被災し、復旧が遅れ、事業継続ができなくなると
①サプライチェーンの分断
②働く場の喪失
③事業の廃止、倒産
といった事態に陥る可能性があります。
また、被害が甚大であれば、産業業績そのものが喪失したり、地域の雇用や経済に大きな影響が与えることとなり、被災地以外に影響が波及することにもなります。

BCPを策定・運用している企業 BCPを策定していない企業



中小企業BCP=緊急事態への対応力の向上

BCPの策定・運用は、日々の経営の中で取り組む経営管理・改善の見える化で、経営の一環です。緊急時の対応力向上に加え、自社の経営実態の把握や経営管理の再確認に繋がるものです。

BCPは特別なものではありません

策定にはまずは身の丈に合った取り組みから

基本方針を立案する

BCPを策定するのは何のためでしょうか？人命や雇用、顧客からの信頼を守るためなど、様々な理由があり、経営方針の延長に位置する基本方針の立案から始めます。

重要商品の検討

災害発生時には事業を継続させるため、自社の売上や顧客に影響が大きいものは何か？を考え、限られた人員、資機材で優先的に製造・販売する商品・サービス等をあらかじめ決めておきます。